

抗微生物薬適正使用DB

大分類

医療機関システム

調剤薬局システム

中分類

処方監査・
処方確認支援

医療用医薬品マスタ

概要

抗微生物薬*の適正使用を支援するデータ

特徴

抗微生物薬の特徴を示す
薬剤特性情報を保持

各種感染症の標準的な
薬物治療の情報を参照可能

DDD(1日仮想平均維持量)
を保持

* 局所作用の外用薬、抗原虫薬等はデータ対象外

© Medical Database Co.,Ltd.

抗微生物薬適正使用DB

ご利用場面

- 抗微生物薬の特性情報の参照に
- 特性情報の比較により治療に適した抗微生物薬の選択に
- 起因微生物や感染症の情報から推奨される薬物治療の参照に
- 医薬品毎のDDDを利用したAUD（抗菌薬使用密度）の算出に

抗微生物薬適正使用DB

薬剤特性情報の表示例

クラビッド錠500mg

成分名	レボフロキサシ(内)	略語	LVFX(内)
系統分類名	ニューキノロン系抗菌薬		
作用機序	DNAジャイレースおよびトポイソメラーゼIVに作用し、DNA合成阻害		

適応菌種 組織移行性 薬物動態 TDM

薬物動態情報

Cmax	8.04 $\mu\text{g/mL}$	血中濃度測定条件	〈国内〉健康成人に錠剤500mgを空腹時単回経口投与(n=40)
半減期	7.89 hr		
AUC	50.86 $\mu\text{g}\cdot\text{hr/mL}$		
肝腎排泄型	腎排泄型	たんぱく結合率	26~36 %
PK/PD	Cmax/MIC	尿中活性体排泄率	93.9 %

- 適応菌種、組織移行性、薬物動態、TDMの情報を搭載
- 抗微生物薬の特性情報比較により薬の特徴がわかる

Note: 画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。

抗微生物薬適正使用DB

感染症の情報から推奨される薬物治療の参照例

「細菌性髄膜炎」の治療法（治療条件: 16歳以上50歳未満、市中発症の場合）

第1選択

CTX (注) + VCM (注)

CTRX (注) + VCM (注)

PAPM/BP (注)

用法用量を参照

1回1gを1日4回

第2選択

MEPM (注) + VCM (注)

DRPM (注) + VCM (注)

Note: 抗微生物薬の略語

- CTX: セフトキシム
- CTRX: セフトリアキソン
- VCM: バンコマイシン
- PAPM/BP: パニペネム・ベタミプロン
- MEPM: メロペネム
- DRPM: ドリペネム